

でなく、様々な人と出会い、多様な他者の考えを知り、自分の人生そのものを変えてしまうような時間が大学生活にはあります。ぜひ、この学部に入学して、自分のキャンパスライフを描いてほしいと思います。

科学部は、自然科学、人文・社会科学など幅広い視点から環境について学べる学部です。在学中、様々な講義を受講しましたが、一番心に残っている言葉は「Thinking globally, Acting locally」です。この言葉をモットーに現在の業務に取り組んでいます。

## Message

### 長崎県環境保健研究センター 小橋川 千晶

（環境科学部 環境保全設計コース 平成16年度卒・大学院生産科学研究科博士前期課程 環境保全設計学専攻）平成18年度修了・大学院生産科学研究科博士後期課程【環境科学専攻】平成22年度修了）



担当業務は、大学時代のテーマと異なる分野ですが、学部・研究科では、幅広い分野について学んでいましたので、当時の講義内容を思い出しながら、必要な知識をさらに掘り下げて勉強する毎日です。環境をめぐる諸問題を多角的に捉える視点をもつことが求められることが多い中、環境科学部で学んだことは、無駄ではなかつたと実感しています。

大学で研究を進める上ではいろいろな失敗があり悩むこともありましたが、振りかえれば、非常に充実した日々だったと感じています。長い学生生活でしたが、大学での経験は、自分を大きく成長させてくれました。皆さんも是非、長崎大学環境科学部で有意義な学生生活を送ってください。応援しています。

現在私は、長崎県環境保健研究センターで勤務しています。現在は、閉鎖性水域の水環境改善等に関する研究に取り組んでいます。

長崎大学環境科学部を選んだ理由は、漠然と地球環境問題について学んでみたといいう思いからでした。長崎大学環境